

企業ニュース ディスコ

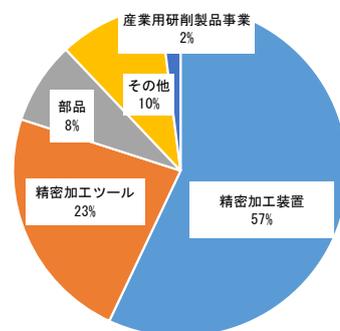
(東証プライム : 6146) <http://www.disco.co.jp/>

作成者 : 兵藤三郎

精密加工装置メーカー

1937年、第一製砥所を広島県呉市で創業。1969年、米国に向け輸出を開始。米国法人は社名の英語表記からDISCOを使用、1977年に現社名に変更した。精密加工用装置及び砥石や刃などの消耗品を製造販売する機械メーカー。精密加工装置はダイシング（切断）、グラインディング（薄化）、ポリッシング（研磨）に特化。これらの装置性能は μm (1/1,000mm) レベルでの切り分け、 $5\mu\text{m}$ レベルまでの研削、鏡面のような研磨が可能、半導体や電子部品メーカーを主要顧客に事業展開している。精密加工ツールは装置に取り付ける消耗品（ダイシングブレード、グラインディングホイール、ポリッシングホイール）の事業。半導体製造ではウェーハの製造工程、回路転写前のウェーハ平坦化、回路形成後の裏面研削、ダメージ層の除去、半導体チップへの切断など多くの工程に対応している。

◇22.3期製品別構成比



(出所)ディスコ資料よりCAM作成

幅広い用途で需要が堅調に推移

22.3期の連結業績は、売上高が2,538億円、前期比39%増、営業利益が915億円、同72%増。幅広い用途で半導体の需要が拡大しダイサー、グラインダなどの装置出荷は高水準、顧客の検収も想定以上に進捗した。消耗品も顧客の高い設備稼働率を背景に堅調に推移した。第3四半期決算発表時に開示された通期計画を売上高で107億円、営業利益で82億円上振れて着地した。営業利益面では、為替が円安で推移したことも付加価値増に寄与した。

23.3期・第1四半期（4-6月）連結業績の会社計画は、売上高が624億円、前年同期比29%増、営業利益が222億円、同44%増。顧客の投資意欲は短期間で激しく変動しやすく長期需要予測が困難なため1四半期先までの予想開示だが、第1四半期は高水準維持を想定、グラインダ中心に装置需要が伸長する計画。顧客の稼働状況は高水準、投資意欲は依然旺盛で、当面堅調な装置需要は継続、消耗品の出荷も堅調推移が見込めよう。想定為替は1ドル=115円、感応度は1円で営業利益約12億円/年の変動要因、足元の実勢レートは大幅なアップサイド要因となろう。

[株価動向・投資判断]

旺盛な半導体需要がけん引し、中期的な業績拡大が期待できる銘柄。生産能力増強投資も一巡し、来期以降も増益継続の期待が高まった。

<6146 ディスコ 業績:日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
21.3	182,857 (30)	53,106 (46)	53,629 (40)	39,091 (41)	1,085.5	677.00
22.3	253,781 (39)	91,513 (72)	92,449 (72)	66,206 (69)	1,835.0	808.00
23.3 予	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	-	未定

(注)需要予測が困難なことから業績予想は第1四半期先までの開示ため、23.3期の業績予想及び伸び率は「-」表示



[主要株価指標] (売買単位: 100株)	
株価 (2022/5/6)	31,600 円
年初来高値 (高値日)	36,050 円 (22/1/4)
同 安値 (安値日)	28,130 円 (22/3/8)
予想 P E R (23.3 予)	- 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	8,108.9 円
P B R	3.90 倍
予想配当利回り	- %
(1株当たり配当金 未定)	
R O E (22.3)	24.3 %
発行済み株式数	3,610 万株